

Library News

301号
2019年5月発行
徳島県立城東高等学校 図書館

図書館利用No.1 長尾くんインタビュー

皆さん、城東高の図書館をもっとも利用する人は、年間何冊の本を借りているか知ってますか？ 30冊？ それとも50冊？

いいえ、一番の人は、何と「年180冊」以上借りてるんです。

たくさん本を読む人ってどんな感じなのでしょう。昨年度、本校の図書館貸出冊数ランキング一位、207HRの長尾遼くん、読書の醍醐味について聞いてみました。



「読書なら興味外のことで知識が増えます」

— 年に何冊くらい読むの？

長尾 200冊以上ですね。

— スゴイですね。たくさん読むようになったきっかけは？

長尾 小6のとき。祖母が本を読む人だったので、東野圭吾とかを借りて読み始めました。中3のとき、塾の先生がすすめてくれた本もよく読みましたね。

— ジャンルでいうと、ミステリが多いの？

長尾 こだわりません。手当たり次第ですね。小説は多いです。最近良かったのは、木地雅映子「あたたかい水の出るところ」と、米田夕歌里「トロンブルイユの星」。前者は温泉好きの主人公が、徐々に自立し成長していく物語。後者は、周りのモノや人が「消失」していく不思議な感覚を、丁寧に描いた作品です。

— ズバリ聞きます。なぜ本を読むの？

長尾 「習慣」ですね。暇なときに読む。読書からいろいろな知識が得られます。ネット検索しても自分の興味のあることしか分からないけれど、読書なら興味外のことで知識が増えます。

— 時間の管理はどうしていますか？

長尾 忙しくならないように心がけています。部活は弓道、サッカーしたりするのも好きです。

— 城東高のみんなへのメッセージをお願いします。

長尾 僕のような生活スタイルは、城東高では少数派だと思いますが、忙しいとき、勉強の邪魔にならない程度に読むだけでも、使える知識がつくので、読書はオススメです。

— ありがとうございます。

関心の幅が広い長尾くん。自然体でいろいろ話してくれました。軽やかに毎日を送っている様子が伝わってきます。皆さんもぜひ図書館を利用してください。（聞き手/文責：古田）

TED

って知ってる？

TEDはアイデアを広めることを目的とした非営利団体で、18分前後の短いトークをネットで配信しています。1984年に始まり、今日では科学からビジネス、グローバルな問題に至るまで、ほとんどすべてのトピックを100以上の言語で扱っているそうです！

大きなスクリーンを前に、演台無しで動き回りながらトークする映像をどこかで見たことがある人もいるのでは？ これまでもたくさんの有名人（クリントン元米国大統領とかボノ(U2のボーカリストとか)が話しています。

今回購入の本にもこのTEDでトークした著者のものがありますよ。『FACTFULNESS』のハンス・ロスリングは公衆衛生学の権威ですが、病氣多発地域に出かけるフットワークは驚きです（お医者さんなので、そっちが本業？）。また『父が娘に語る・・・』の作者のバルファキスはギリシアの財務大臣も務めた経済学者ですが、スキンヘッドに革ジャンで、一般の「娘に語りかける父親像」からはほど遠い（笑）こんな世界のスゴイ人たちのトーク、本を読んで興味を沸いたら動画でも味わって！日本語の字幕がついているし、何より世界の知の一端に触られますよ。